



2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月7日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2020年4月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	17,282	13.1	745	28.8	788	28.6	239	60.9
2019年5月期第3四半期	15,279	10.9	1,046	7.8	1,104	15.2	612	6.7

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 245百万円 (60.3%) 2019年5月期第3四半期 618百万円 (3.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	30.79	
2019年5月期第3四半期	75.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	20,524	3,454	16.8	443.70
2019年5月期	19,862	3,351	16.9	430.47

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 3,454百万円 2019年5月期 3,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		18.31	18.31
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				32.65	32.65

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,705	12.7	236	28.2	333	33.2	847	72.4	108.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規1社(社名 株式会社ヒューマンライフ)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期3Q	8,396,000 株	2019年5月期	8,396,000 株
期末自己株式数	2020年5月期3Q	610,258 株	2019年5月期	610,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期3Q	7,785,742 株	2019年5月期3Q	8,136,044 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、企業業績の回復、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復が続いておりましたが、世界経済の停滞リスクに加え、国内では2019年10月の消費増税の影響もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は17,282百万円（前年同期比13.1%増）となり、前年同期に比べ2,003百万円増加しました。営業利益は745百万円（同28.8%減）となり、前年同期に比べ301百万円減少しました。経常利益は788百万円（同28.6%減）となり、前年同期に比べ315百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は239百万円（同60.9%減）となり、前年同期に比べ372百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、2019年春の好調な生徒数増加が、当第3四半期連結累計期間においても売上、利益の増加に寄与しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高8,638百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益1,863百万円（同4.6%増）となりました。生徒数（フランチャイズ事業における末端生徒数含む）の増加（同2.9%増、前年同期に比べ780人増加）により、前年同期に比べ増収増益となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、幼児から小学校低学年までを主な対象とするユニバーサルキャンパスの生徒数増加と、オーストラリアの子会社English Language Company Australia Pty Ltd.の売上を算入したことにより前年同期に比べ増収となりました。国内10校の日本語学校を運営する日本語教育事業では、2019年夏に入管審査厳格化の影響を受けて学生数が一時減少したものの、2019年秋以降は回復しました。なお、その後の第4四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、再び学生数は前年に比べて減少する見込みです。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加（前年同期比21.7%増、前年同期に比べ1,286人増加）により売上高2,593百万円（同26.1%増）となりましたが、各事業における費用増加の影響でセグメント損失260百万円（前年同期は20百万円の損失）となり、前年同期に比べ増収減益となりました。

<保育・介護事業>

保育事業においては、72園の保育園を運営しており、園児数は計画通り推移しております。人件費増及び2020年春開園に向けた採用費と設備投資増加の影響で費用が増加しました。介護事業では出店及び補助金増により、増収増益となりました。内部統制の整備、人件費の見直しを行い費用が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高6,048百万円（前年同期比26.9%増）、セグメント利益26百万円（前年同期比75.9%減）となり、前年同期に比べ増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、20,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ661百万円増加しました。流動資産は、4,406百万円となり438百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少626百万円、売掛金の増加128百万円等です。固定資産は16,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,100百万円増加しました。有形固定資産は、11,331百万円（前連結会計年度末に比べ1,280百万円増加）となりました。主な要因は、建物の減少154百万円、建設仮勘定の増加1,549百万円等です。無形固定資産は、2,135百万円（前連結会計年度末に比べ265百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少258百万円です。投資その他の資産は、2,651百万円（前連結会計年度末に比べ85百万円増加）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の増加115百万円等です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、17,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ、558百万円増加しました。流動負債は、8,523百万円となり1,030百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加1,030百万円、未払金の増加335百万円、前受金の減少291百万円、賞与引当金の増加190百万円、その他の減少197百万円等です。固定負債は8,546百万円となり、471百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少550百万円等です。当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ、102百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加97百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末16.9%から0.1ポイント下落し16.8%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が世界的な広がりを見せておりますが、現時点では業績予想への影響を合理的に見積もることが困難であるため、現段階では2020年1月7日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。今後、業績への影響が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,516,560	2,889,726
売掛金	617,088	745,424
商品	66,440	105,689
貯蔵品	15,942	20,049
その他	665,244	689,250
貸倒引当金	△35,547	△43,241
流動資産合計	4,845,728	4,406,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,271,599	5,117,317
土地	2,780,657	2,780,306
リース資産(純額)	1,653,802	1,596,634
建設仮勘定	324	1,550,295
その他(純額)	343,756	286,474
有形固定資産合計	10,050,139	11,331,029
無形固定資産		
のれん	2,134,464	1,876,236
その他	266,913	259,376
無形固定資産合計	2,401,377	2,135,613
投資その他の資産		
投資有価証券	145,701	139,867
繰延税金資産	830,013	806,449
敷金及び保証金	1,411,909	1,527,229
その他	179,984	179,143
貸倒引当金	△1,872	△1,663
投資その他の資産合計	2,565,735	2,651,027
固定資産合計	15,017,253	16,117,670
資産合計	19,862,981	20,524,570

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,188	156,091
短期借入金	3,000,000	4,030,280
1年内返済予定の長期借入金	1,356,569	1,352,726
リース債務	72,833	75,187
未払金	574,543	909,823
未払法人税等	336,495	213,078
前受金	1,012,301	720,398
賞与引当金	114,519	305,422
資産除去債務	4,540	18,159
その他	939,739	742,171
流動負債合計	7,492,732	8,523,338
固定負債		
長期借入金	4,561,010	4,010,147
リース債務	1,777,869	1,734,630
退職給付に係る負債	1,690,964	1,780,580
役員退職慰労引当金	200,384	214,817
資産除去債務	243,031	278,439
繰延税金負債	463,193	430,739
その他	82,231	97,348
固定負債合計	9,018,687	8,546,703
負債合計	16,511,420	17,070,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,447,122	3,544,295
自己株式	△695,920	△695,920
株主資本合計	3,343,049	3,440,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,029	26,540
為替換算調整勘定	50,505	49,988
退職給付に係る調整累計額	△72,024	△62,222
その他の包括利益累計額合計	8,511	14,306
純資産合計	3,351,560	3,454,529
負債純資産合計	19,862,981	20,524,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	15,279,192	17,282,372
売上原価	11,394,358	13,191,852
売上総利益	3,884,833	4,090,519
販売費及び一般管理費	2,838,302	3,345,130
営業利益	1,046,531	745,388
営業外収益		
受取利息	508	1,291
受取配当金	2,674	2,627
貸倒引当金戻入額	571	257
持分法による投資利益	—	1,749
補助金収入	82,167	105,873
受取保険金	51,211	—
雑収入	18,281	31,016
営業外収益合計	155,414	142,816
営業外費用		
支払利息	90,755	96,139
為替差損	4,545	3,322
持分法による投資損失	43	—
雑損失	2,396	472
営業外費用合計	97,740	99,934
経常利益	1,104,205	788,271
特別利益		
固定資産売却益	64	163
投資有価証券売却益	—	189
特別利益合計	64	352
特別損失		
減損損失	18,785	150,474
固定資産除却損	0	636
投資有価証券評価損	5,189	645
訴訟関連損失	—	7,000
特別損失合計	23,974	158,757
税金等調整前四半期純利益	1,080,295	629,866
法人税、住民税及び事業税	475,588	401,859
法人税等調整額	△7,991	△11,722
法人税等合計	467,597	390,136
四半期純利益	612,698	239,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	612,698	239,730

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	612,698	239,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,669	△3,488
為替換算調整勘定	8,339	△445
退職給付に係る調整額	5,559	9,801
持分法適用会社に対する持分相当額	△480	△71
その他の包括利益合計	5,747	5,795
四半期包括利益	618,445	245,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	618,445	245,525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,454,769	2,056,893	4,767,529	15,279,192	—	15,279,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,454,769	2,056,893	4,767,529	15,279,192	—	15,279,192
セグメント利益又は損 失(△)	1,781,329	△20,766	111,071	1,871,634	△825,102	1,046,531

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△825,102千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△883,001千円及びその他の調整額57,898千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「語学関連事業」セグメントにおいて、2018年9月4日付けでEnglish Language Company Australia Pty Ltd.の株式を取得しました。また、同セグメントにおいて、2019年1月11日付けで株式会社ダイナミック・ビジネス・カレッジの株式を取得しました。これらの事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、983,759千円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,638,863	2,593,024	6,048,831	17,280,719	1,652	17,282,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,638,863	2,593,024	6,048,831	17,280,719	1,652	17,282,372
セグメント利益又は損 失(△)	1,863,791	△260,029	26,816	1,630,579	△885,190	745,388

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△885,190千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△975,277千円及びその他の調整額90,086千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年3月1日付にて行った組織変更に伴い、前連結会計年度より調整額に含まれていた「株式会社アルファビート」を「語学関連事業」セグメントに含めて開示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「語学関連事業」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社アイ・シー・シーの買収時に発生したのれん等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては、91,974千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「語学関連事業」セグメントにおいて、のれん等の減損損失を計上したため、のれんが減少しております。これらの事象によるのれんの減少額は、当第3四半期累計期間においては、87,837千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。